

キラリ 輝け 山陽中 No.43 (26.09.18) 文責 内海雅章

体育大会に向けての一コマ

陸上競技大会で力を発揮してくれた生徒がほとんどだったと思います。翌9月18日(金)は、疲れが残っている生徒も多かったでしょう。でも生徒たちは元気です。中学生というか若いからというか、この日の練習でも一生懸命に取り組む姿を見せてくれました。



1時間目は全校練習、2～4時間目は各学年の練習でした。学年の練習では「全員リレー」の入退場を中心に行いました。3年生は実際にリレーを行いましたが、途中で打ち切り、勝敗は後日のお楽しみです。

2026 年度後期生徒会選挙

体育大会の合間を縫って、「生徒会選挙」を行いました。私は、全校生に以下のように話をしております。【一部抜粋】

生徒会活動は、役員に選ばれた人たちだけで行うものではありません。学校を動かす主役は、ここにいる生徒の皆さん「一人ひとり」です。今日の投票は、単に誰かを選ぶ作業ではなく、「どんな学校で過ごしたいか」「どんな自分たちでありたいか」という、みなさん自身の未来を選ぶ機会です。

候補者が何を語り、どんな学校を目指しているのか。その言葉の奥にある「思い」や「具体策」にしっかりと耳を傾けてください。そして、「この人に自分たちの代表を託したい」「一緒に最高の学校を作りたい」と思える人に、自分の意志で大切な一票を投じてください。

皆さんの真剣な姿勢が、これからの学校の雰囲気を創り出します。

候補者の熱意溢れる演説を期待するとともに、全校生徒のみなさんが真摯な態度で耳を傾け、自覚と責任を持って公正な投票を行うことを願っています。

先日、沖縄県知事選挙の様子がニュースにあったように、全国の至る所で国政、県政、市町村の選挙の様子が報道されます。日本では、2016年(平成28年)6月19日に施行された改正公職選挙法によって、選挙権年齢が「満20歳以上」から「満18歳以上」に引き下げられました。中学3年生にとって、あと約3年ほどで、選挙権を得ることになります。たかが、学校の生徒会選挙と思わず、自分の意思表示をしっかりと示すことのできる中学生となってください。



立候補者が、緊張して待機しています。自分の言葉で、自分の思いを語ります。

演説が始まりました。オンライン形式で行います。相手がないビデオカメラに向かって語ります。



選挙管理委員会から挨拶並びに生徒会選挙の説明がありました。

各教室では真剣に聴いております。この後、即日投票となります。

